



# ふるさと笠松の ちょっといい話

令和元年 8 月 吉日

No.149

## 今年も「会い・Eye・挨拶ラジオ体操」を行いました 地域の人との関わりを広げ、深めるために

夏休みのラジオ体操といえば、どのようなことが思い出されますか？

今から50年ほど前の笠松町内では、小学生をはじめその家族、そこに中学生や地域の人々も加わり、とても多くの人が集まって、ラジオ体操を行いました。体操のリーダーは中学生で、前に立って手本を示す形をとっていました。とくに第二体操は、小学生にとって馴染みのないものでしたので、中学生の姿を真似てやったものです。最終日には景品がもらえたので、それを楽しみに毎日参加した覚えがあります。そういった中で、地域の多くの人と顔見知りとなることができました。

その後、時を経るにつれて町内の子ども数が減るとともに参加者が少なくなり、また取組期間も短くなり、地域の人々と顔見知りになることが減ってしまいました。そこで、三世代交流ラジオ体操として参加者を増やすとともに、小学校区ごとに集う町民一斉のラジオ体操を企画したのが「会い・Eye・挨拶（あい・あい・あい）ラジオ体操」なのです。

8月3日（土）の早朝、令和になって初めての笠松町民一斉「会い・Eye・挨拶ラジオ体操」を実施したところ、3小学校区合わせて約600人が参加し、交流を深めました。

はじめに、挨拶ジャンケンゲームを行いました。必ず大人と子どもが対戦することとし、朝の挨拶と自己紹介をし、握手をした後ジャンケンをします。5回勝った子から記念品がもらえます。すんなり5回勝つことはほとんどないため、多くの大人とジャンケンをすることになり、いろいろな人と顔見知りになることができました。

次はラジオ体操です。第一体操、第二体操と進みましたが、どの会場においても熱心に取り組む姿であふれていました。朝日があたると暑く感じる朝となりましたが、終了後にはほとんどの参加者が清々しい表情で帰宅していきました。



【各会場の様子】（左から、笠松小、下羽栗小、松枝小）



取材を終えて…各会場では、人と人との関わりがたくさんできました。まず、各町内会で顔見知りを増やし、それを「会い・Eye・挨拶ラジオ体操」につなげていきたいものです。

発行：「道徳のまち笠松」事務局（笠松町教育文化課）

連絡・問合せ・情報提供は…笠松町中央公民館（Tel.388-3231）まで

